

## COP28ドバイ会議の結果

伊与田昌慶(国際環境NGO 350.org Japan)  
masayoshi.iyoda@350.org

2024年1月17日(水)ワタシのミライ シンポジウム



**DELIVER CLIMATE FINANCE  
FOR EQUITABLE  
AND JUST TRANSITION**

**END FOSSIL FUELS  
FAST FAIR FOREVER**

**TOGETHER FOR  
JUST TRANSITION**

**FOSSIL FUEL PHASEOUT**

**#ENDFOSSIL**

**DIRTY  
FUELS  
NO!**

**COP28ドバイで化石燃料のフェーズアウト  
(段階的廃止)を求める世界の市民**





Photo: Masayoshi Iyoda

COP27に続き、COP28ドバイでも  
日本、「本日の化石賞」を受賞

# 2030年までに世界で 再エネ3倍 & 省エネ2倍

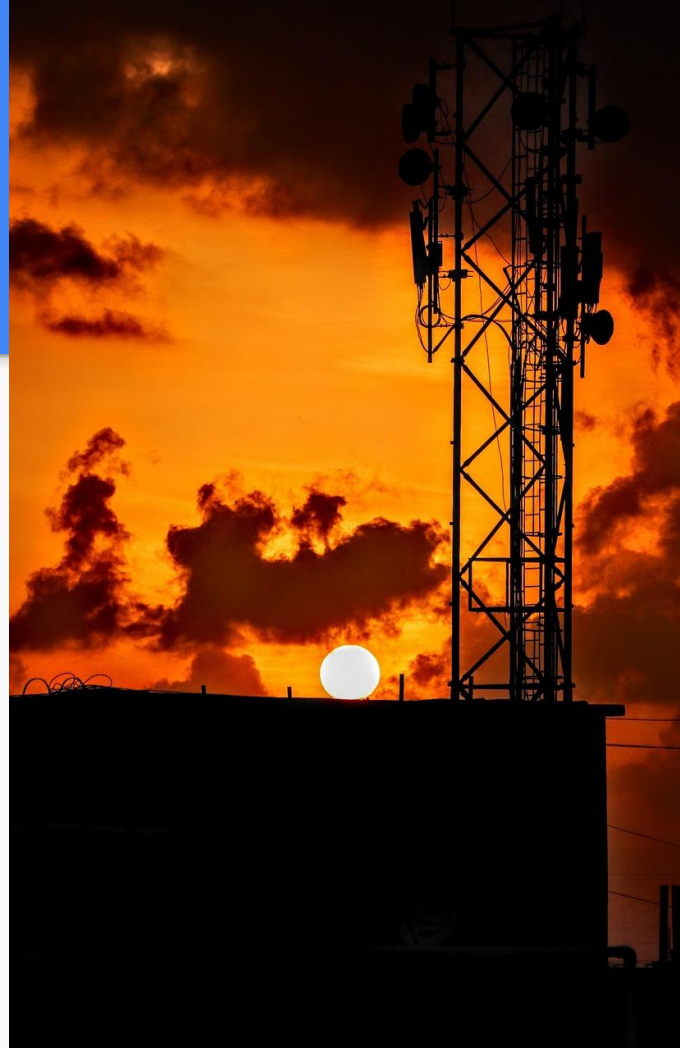
- COP28で「2030年までに世界の再エネ設備容量を3倍に、エネルギー効率改善率を2倍にする努力に貢献するよう各国に要請」することを合意しました。
- →日本のエネルギー政策も、2030～35年までの、大幅な再エネ・省エネの積み増しが必要

※「2050年原発3倍」は、米国や日本を含む一部の国が宣言しただけで、正式なCOP合意になったわけではない



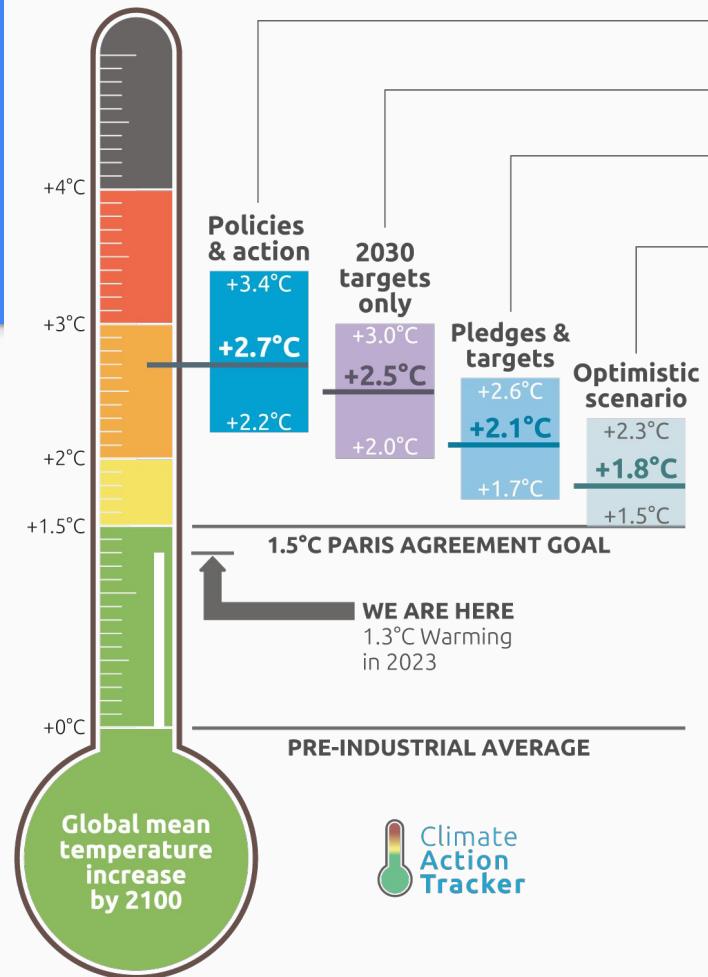
# 決定的に重要な10年： 化石燃料からの脱却

- 「この決定的に重要な10年に行動を加速し、化石燃料から脱却する」と合意された。COP合意の中で化石燃料全般について脱却するとしては初めて。
- →日本は、すべての化石燃料をフェーズアウトさせるための政策の検討を急ぐべき。特に排出量の大きな石炭火力発電からの脱却は急務



# 温室効果ガス削減目標

- 1.5°C目標のためには、世界の温室効果ガス排出量を2035年までに60%削減(2019年比)が必要
  - 新しい目標は、2035年までの期間にするよう奨励。遅くとも2025年2月までに提出するよう各国に求める
- →日本も、現行の2030年目標を引き上げるとともに、新しい2035年目標を急いで検討し、2025年2月までに国連に提出すべき





# 日本への宿題

- 「化石燃料からの脱却 & 再エネ3倍 & 省エネ2倍」を踏まえて日本の気候・エネルギー政策を見直す
- 2035年までの野心的な排出削減目標を遅くとも2025年2月までに国連に提出することが必要
- COP28合意を踏まえて、市民、自治体、企業が「化石燃料からの脱却 & 再エネ3倍 & 省エネ2倍」のために声をあげ、自ら行動し、政府を動かすことが大切！



350のコミュニティに入って  
一緒にアクションしましょう！

Welcome to

350  
クルー



<https://350jp.org/volunteer-register/>



# 気候変動や解決法についてもっと知る無料講座

＼これでアナタもまるわかり！

## 気候変動基礎クラス

公開講座

ウェビナー



直近の開催日程(先着順・満員だったらごめんなさい🙏)

☀️気候変動基礎クラス #3☀️

前半: 3月4日(月) 19:00-22:00

後半: 3月18日(月) 19:00-22:00

🌴気候変動基礎クラス #4🌴

前半: 2月11日(日) 10:00-13:00

後半: 3月3日(日) 10:00-13:00

お申し込み:

<https://bit.ly/40wPcx7>

# 署名：再エネを求める(ワタシのミライ)



署名

再エネを増やして、  
ホンキの気候変動対策を  
お願いします



<https://act.350.org/sign/watashinomirai/>

まずは、3分でできる  
意思表示から始めませんか？  
**市民が動けば、  
政治は変わります。**